

# **Newsletter**

**Multiloop Edgewise Arch-Wire Technic  
and Research Foundation**

**Vol. XI**

**December, 2004**

### 前回の Newsletter 以降の新しい出来事

Tecnologica de Mexico 大学は1月29、30日に Mexico city で学会を開き約150名の人  
が参加しました。Dr. Kim はセファロによる鑑別診断と MEAW を用いた難しい不正咬合の  
治療について4つのレクチャーを行いました。 Mexico の先生方は皆 MEAW の多用途性  
に深い感銘を受けたようでした。卒後教育の卒業生による8つの presentation が行われまし  
たがどれも科学的、臨床的に優れたものでした。いくつかの研究は ODI と APDI に関する  
ものであり、スケルタルパターンを予測する上で ODI と APDI の計測値は非常に信頼性が  
あることが報告されました。一方、Mexico city の他の大学に於て Dr. Roberto Siva Meza が  
開発した extraction index を計算する方法は非常に有用であると評価されました。

Mexico ではたくさんのドクターが ODI/APDI/CF/EI のコンセプトを用いて診断しています。

神奈川歯科大学の主任教授で、日本 MEAW 研究会の前会長である佐藤先生はオーストリ  
アのウィーンで3ヶ月ごとの定期コースを開いています。この Continuing education course  
を受けている生徒の数は40名を超えました。忙しいスケジュールにかかわらず彼はドイ  
ツの Hamburg と Frankfurt でも continuing education course を行って欲しいとの要請を受けて  
います。佐藤先生はまた2月に Colombia の Cartagena にある Cartagena 大学に招かれて2  
日間のコースを行いました。

3月には China MEAW Study Group による第2回の Dr. Kim コースが中国の杭州において開  
かれました。300人を超える熱心な参加者が中国各地から参加しました。彼らの中には36  
時間以上も列車に揺られて参加した人もいました。彼らの矯正治療に対する熱意はまさに  
舌を巻くばかりといわざるを得ません。第2回の MEAW コースに続いて上海の3大学で  
組織された1日コースが上海で行われました。これには約80名の学生や大学のスタッフ  
が参加し、Class III ケースや Open bite ケースの治療に対する活発な質問がおこなわれまし  
た。

4月23日から25日にかけてはボストンで第5回の MEAW コースが開かれ、40名が  
参加しました。参加者の中には Greece, Mexico, 日本からの参加者もみられました。いつも  
のように参加者は MEAW の多様性に魅了され、コース終了後 MEAW を使って得られたす  
ばらしい結果を知らせてきた者もいます。このような報告を聞くことは非常にうれしいこ  
とです。

5月の13日から15日までは Intenational Association of Orthodontists の主催による第2回の MEAW テクニックの continuing education course が Connecticut で開催されました。前年に開かれた第1回目のコースが好評だったため第2回目のコースの開催となりましたが30人の参加者のほとんどは第1回目に引き続いての参加でした。彼らは口々に「MEAW テクニックにはまってしまった」と言っています。

日本 MEAW 研究会会長の Dr. 池上は現在 MEAW と MIA (Micro Implant Anchorage) を組み合わせた治療法の確立に取り組んでいます。5月の終わりにはマカオ矯正歯科学会の設立記念総会に招かれ、MIA に関する講演を行いました。彼はまた、香港大学の客員教授を兼ねており、マカオでのミーティングの後香港大学を訪れて MIA の埋入のライブデモを行い、マイクロアンカレッジの矯正歯科における有用性について講演しました。

松本歯科大学の栗原三郎教授は大学や学会で非常に忙しい日々を送っています。今年の7月は東京での bone biology に関する学会の準備で特に忙しい日々を送りました。このコースは Sandstedt の100周年 Memorial Course に繋がるものです。Sandstedt は100年も前に犬を用いて最初の組織学的実験を行った歴史的人物です。栗原先生はご存じの通り bone biology の専門家で彼の努力が実ることを祈ります。

7月10日と11日 Seoul National University の矯正学教室はソウルの豪華なホテルで40周年の記念学会を開きました。米国やアジア各国からの著名なゲストを含めて約450名を超える人が参加したのではないかと思います。大会のメインテーマは下顎前突(Class III malocclusion)で Dr. Kim は「Class III case の relapse:その背景と治療法」というタイトルで講演しました。

10月始め Dr. Dina Dalassou は Mallorca(Spain)の Valentia 大学の学生向けに MEAW のコースを開き好評を博しました。Dr. Dalassou は我々のメンバーでギリシアのアテネで開業しています。彼女は現在 European Angle Society のメンバーになるために論文を書いています。良い結果であることを祈ります。

韓国 MEAW Foundation 主催の MEAW テクニックに関する2年間のコースの第9期39名が無事に全課程を修了し、11月19日ソウルで卒業式を迎えました。第10期は2005年3月に2年間のコースをスタートする予定です。

11月20日に韓国のソウルで韓国 MEAW Foundation の2004年度の研究大会が開かれ、約120名が参加しました。ゲストスピーカーは栗原三郎、Hyun Shik Whang、池上富雄、Yong Kim でした。

11月25日から27日にかけて第14回の MEAW コースが東京で開かれ、約60名が参加しました。参加者の中には2回目、3回目、中には13回目という人もいました。彼らの勉学の意欲には舌を巻かざるを得ません。コース後の28、29の両日には第14回目の日本 MEAW 研究会大会が開かれ、多くの参加者で盛況でした。小野塚実先生は咬合と全身の健康との関連についての講演をして正しい咬合の重要性を説きました。ドイツの Frankfurt から POLYCOM の回線を使って Rudolf Slavicek 教授は「Treatment of Class II patients with dysfunction of craniomandibular system」というテーマで講義を行いました。彼が日本に来ることなく示唆に富む講義を行ったことは非常に印象的でした。堀紀雄先生は咬合と脳の働きに関する彼の研究成果を披瀝しました。講演の中でガムを噛むことは生理的、情緒的にストレス解放の処置として有効であると述べました。佐藤貞雄先生は矯正治療における咬合平面の重要性について述べ、池上富雄先生は矯正治療における Micro Implant System の有効性についての講演を行いました。Dr. Kim は class III case の後戻りとその治療法についての講演を行いました。

今年の Kim Fund の奨学金受賞者として3人が選ばれました。アテネ在住の Dr. Margaritis Pimenidis は「Functional Magnetic Reconance Image (FMRI)experimental study of human cerebral cortex before and after orthodontic therapy with the MEAW technic on Class II openbite malocclusions」というテーマで、九州大学の寺嶋雅彦先生は「顎顔面領域の形態、機能の総合的な分析方法の開発」というテーマで、北京大学の Dr. Xiaotong Li と Dr. Ding Zhang は「Comparison of root resorption in Beagle dogs loading with intrusion force by different wires」というテーマで研究を行う予定です。上記受賞者は各自の研究に対してそれぞれ日本円で30万円(約\$2,940)の奨学金を受け取ることが出来ます。

International Journal of the MEAW Technic and Research Foundation の第11巻は現在印刷中でまもなく皆様のお手元に届けられるでしょう。

2年ごとに行われる国際 MEAW Foundation の第7回大会は2005年5月18、19、20日に米国 California 州の Anaheim にある Anaheim Hilton ホテルで行われる予定です。Hilton Anaheim ホテルは Disneyland に隣接しており、老若問わず家族みんなが楽しめる興奮が待っています。今からカレンダーにマークして参加するようにしてください。詳細は近々送られてくるでしょう。